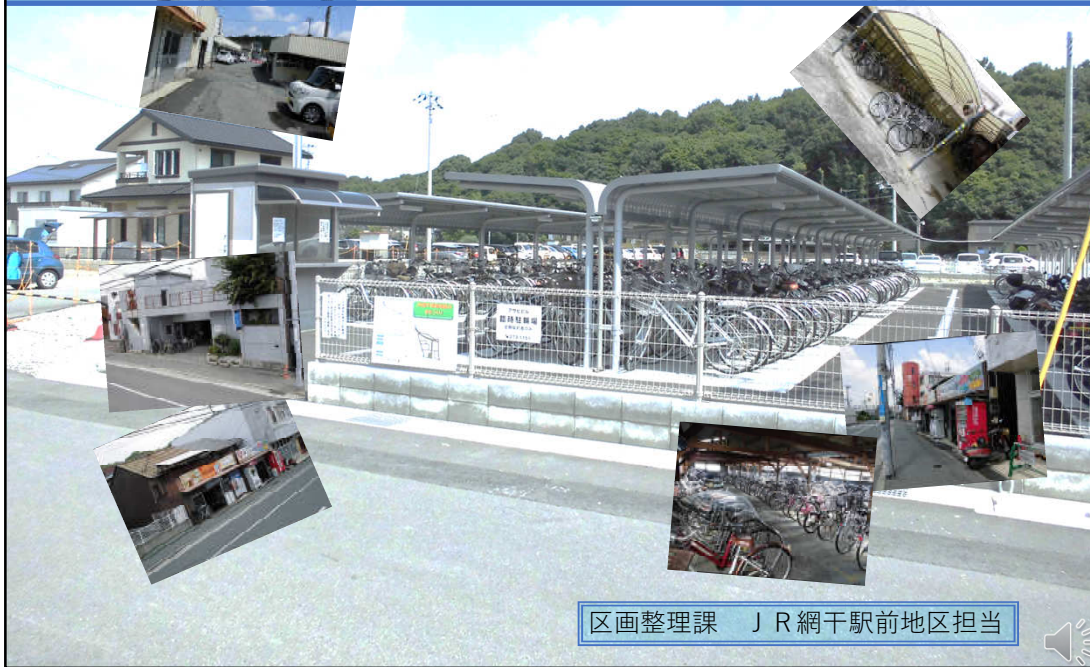


## 仮駐輪場設置による営業補償費の削減



### < 駐輪場が不足する事態を避ける >

既存の駐輪場は、満車状態

移転中、他の駐輪場を利用してもらうにも、空きが無い。

(数百台の自転車の行き場が無くなる。)



## < 駐輪場が不足する事態を避ける >

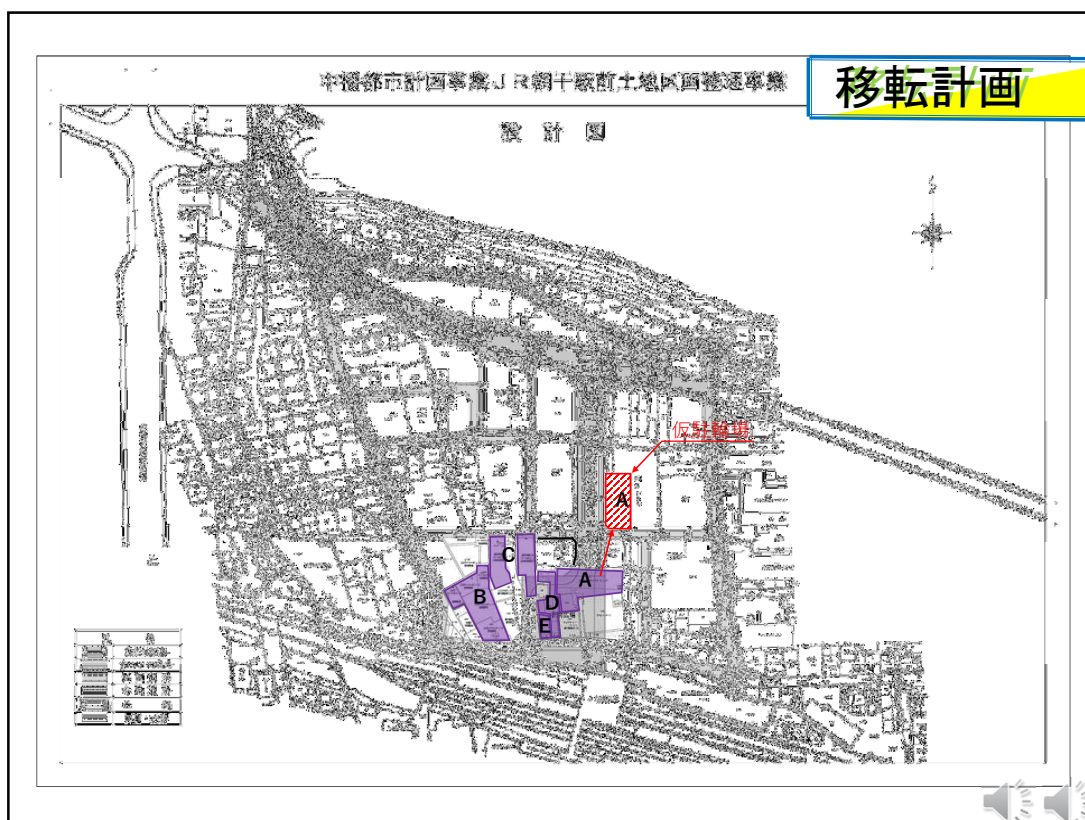
### < 現状 >

- ・駐輪場は全て民営で、移転対象である。
- ・自転車での駅利用者の駐輪可能台数を確保する必要がある。  
全ての駐輪場が、ほぼ満車状態。  
(→ 移転期間中休業すると受け入れ先が無い)
- ・駅前に駐輪場が密集しており、スムーズな移転が必要。



### < 対応 >

- ・姫路市所有の仮換地に仮駐輪場を設置し、権利者に仮営業してもらった事で、駐輪可能台数を確保し移転補償の費用削減と工期短縮を図る。



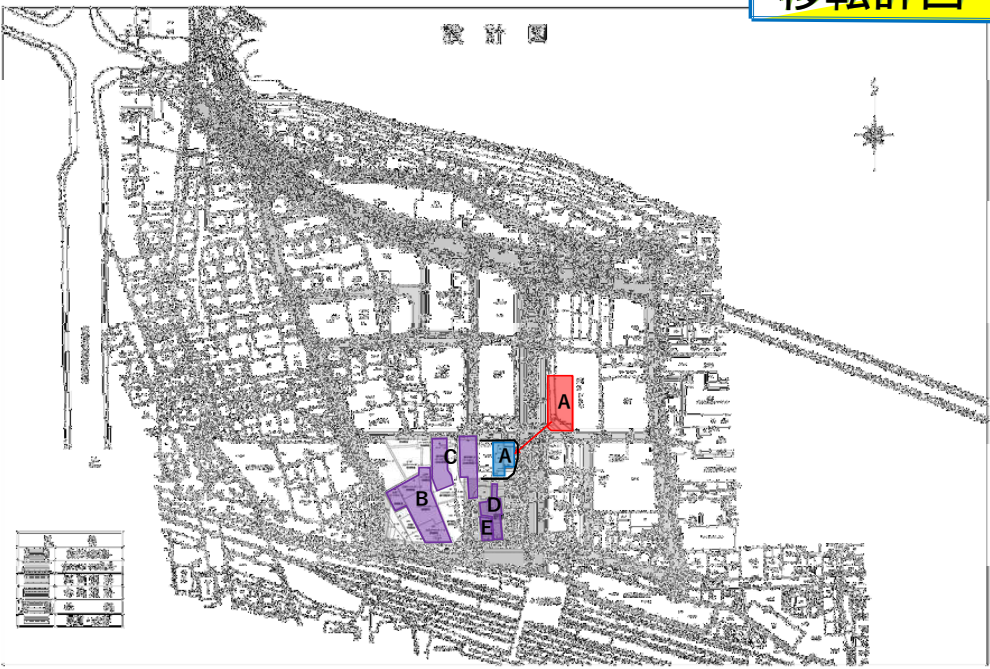
移転計画

設計図



移転計画

設計図



移転計画

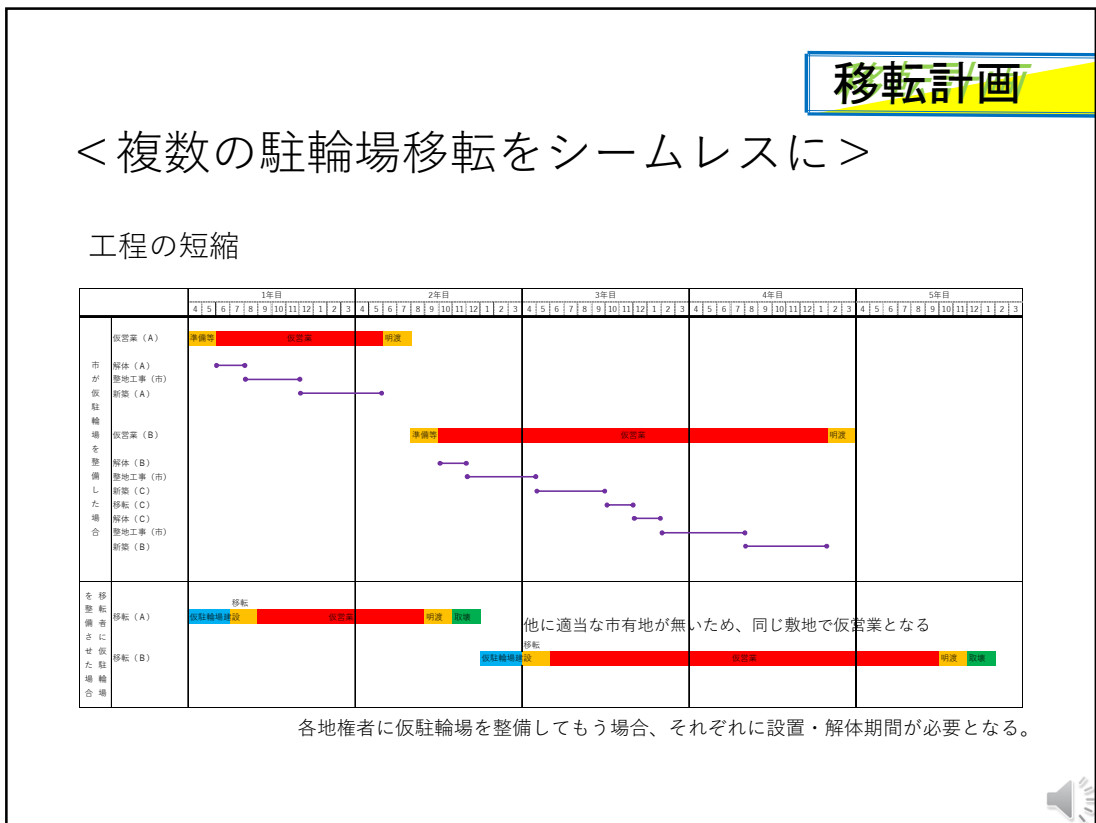
設計図



移転計画

設計図





## < 経費削減金額 >

駐輪場経営者に休業補償として支払う予定であった補償費のうち、仮駐輪場を利用してもらう事により経営が継続できることで削減できる金額

4,084千円 (予定)

### 【内訳】

#### ○休業補償が不用となる費用

(月1台あたりの駐輪代金) (仮駐輪場収容台数) (4年×0.8稼働率)

$$2千円 \times 307台 \times 38か月 = 23,332千円$$

#### ○仮駐輪場の建設・撤去費

(設置工事費)

(設計費)

(撤去費)

$$16,848千円 + 400千円 + 2,000千円 = 19,248千円$$

